

も柳町ともいふ唐土にては華街（名也）の大道にさし夾むといひて、町中に廓有と見えたり、
〔東海道名所記〕六條のあたりより西、朱雀の丹波海道より北のかたに、一かまへみへたるは、こ
れ傾城町なり、世に島原と名づく、そのかみ肥前國天草一揆のとりこもりける島原の城は、うし
ろは海、わきは沼にて、前一方は平地につゞきたれば、此傾城町の一方口なるを、島原といふなら
ん、

〔濬標〕廓紀原

當津○大の柳陌は、往昔天正慶長の比より、諸所に遊女を抱渡世のもの有しを、寛永年中に、今の
土地を下しおかれ、諸所の遊女を一所にあつめ、一廓の内に軒をならべさせ、其比木村亦次郎と
いへる浪人者に、右廓の庄屋年寄を被爲仰付、永くけいせい町と成○中略

新町開基井町小名因縁

前にいふごとく新に町となりしより、世人新町とよぶ總名なり、又當津にては中（中）といふ、
瓢單町 但南組

通り筋なり、其已前道頓ぼりにひやうたん町とて有、其所の一町元和の比、此所へ移せり、○中略

柳陌格式

總體廓の内、何ごとによらず、往古木村屋又次郎、庄屋總支配の格を以、今に五町の年寄下知す、
〔浪花（花）街（街）通（通）噂（三）〕鶴人○中女郎は大坂のことでムリヤス、新町などへいつて御覽じやし、嬋娟たる

者が餘ほど居りヤス、千長、新町と云ふのが江戸で云ふ吉原でムリヤスカ、鶴人、さやうさ、新町を
廓といつて御免の場所でありやす、慶長の頃までは、諸々方々に遊女屋があつたさうでムリヤ
スガ、夫を寶永年中に、今の土地をくだされ、諸處の遊女屋を一處にあつめて、廓となりやしたの
が、今の新町でありやす、万松揚屋の立派なは、其新町でありやす、鶴人、さやうさ、京の女郎に長崎